

行歯会だより 第142号



(行歯会 = 全国行政歯科技術職連絡会)

2019年4・5月合併号

1 行歯会事務局長就任挨拶

行歯会事務局長

福田 英輝

(国立保健医療科学院統括研究官)

打ち合わせ報告～国立保健医療科学院にて～

行歯会会長

長 優子

(江戸川区葛西健康サポートセンター)

2 平成30年度厚生労働省歯科保健医療行政実務研修報告

江戸川区小岩健康サポートセンター

木村美由紀

3 都道府県世話役のつぶやき ～富山県・和歌山県～

富山県厚生部健康課

大平 貴士

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

得津 康子

1 行歯会事務局長就任挨拶

行歯会事務局長

(国立保健医療科学院統括研究官・歯科口腔保健研究分野)

福田英輝

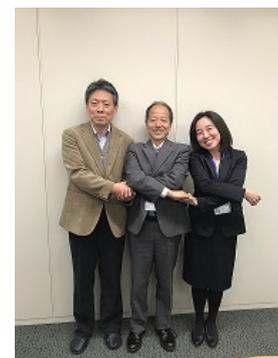
●事務局からこんにちは。

行歯会の皆さま、はじめまして。このたび安藤雄一先生の後任として国立保健医療科学院の統括研究官(歯科口腔保健研究分野)に着任しました福田英輝と申します。着任とあわせて、安藤先生から行歯会の事務局長も引き継ぐことになりました。行歯会1年生で、頼りない事務局長ですが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



前職は、長崎大学の口腔保健学教室(旧予防歯科)です。地域歯科保健分野を中心に研究しておりましたので、公衆衛生学会や口腔衛生学会には、よく顔を出しておりました。会員のなかには、福田英輝・・・あれ知った名前だぞという方もあるかもしれません。学会場で見かけた折には、新事務局長への励ましも込めて、どうぞ気軽にお声かけください! 待っています。

長崎では、長崎県や佐世保市に、大変お世話になりました(長崎の皆さん、元気していますか?)。とくに佐世保市では、市民を対象とした歯周病検診と歯科相談を担当していました。県や市町が行う歯科保健事業の企画や評価のお手伝いを通じて、自治体や地域歯科医師会と関わる機会は、他の大学研究者より多かったと自負しております。今後は、国立保健医療科学院の統括研究官として国の歯科保健政策に資する研究ができるよう頑張ります。また会員の皆さま方からの研究や統計情報についての相談も受けたいと思



っています。些細なことでも結構です。ご連絡いただければ嬉しく思います。

私ごとになりますが、私は、長崎、鹿児島、大阪、タイ、大阪、それから長崎へと西日本（+アジア）を移動しておりますが、大阪より東に住むのは今回が初めてです。適応能力は人一倍あるつもりなので、寂しさに負けず（現在、単身赴任中）、ぼちぼちと業務に研究に励みたいと考えております。事務局員である安藤先生、田野さんと力をあわせ、しっかりと会員の皆さま方の支援を行っていきます。今後とも、末永く、お付き合いのほどよろしく願いいたします。

『行歯会打合せ報告』

行歯会会長 長 優子

事務局長交替に伴い、国立保健医療科学院を訪問し打合せを行いましたのでご報告します。

和やかな雰囲気の中、行歯会発足から最近までに取り組んできたことについて情報共有し、今後に向けて意見交換を行いました。

日時：平成 31 年度 4 月 17 日（金）17 時 30 分～18 時 40 分

場所：国立保健医療科学院 本館 8 階 第 5 会議室 802

出席者

理事：長、高澤、田村、柳澤

事務局：福田、田野、安藤



1. 会員名簿管理

4/22 管理者交替（事務局長が作業担当）

同日、名簿担当理事交替 原田理事⇒柳澤理事

*会員数（H30.8.23 現在）歯科医師 151 名、歯科衛生士 607 名、歯科技工士 1 名、その他 1 名

*年度更新について

名簿担当理事は、毎年 5 月に都道府県世話役へ確認依頼、7 月に更新作業完了。

新規入会者のみ迅速に別途対応。

*賛助会員は、事務局長が毎年度継続の意向確認、情報発信の依頼をする。

2. 行歯会の運営

①今期の主な活動内容

行歯会だより発行、世話役アンケート実施、災害関連、人材育成ガイド作成、学会自由集会等

②理事懇談会 年間 3 回開催予定

今後に向けて、学会・各種研修会等で遠方の理事と合う機会を作る、Web 会議の開催等、意見交換した。

3. 公衆衛生学会自由集会

福田事務局長を中心に、柳本理事（中国・四国ブロック理事、高知県）、賛助会員である中久木先生にご協力いただき災害をテーマに内容を検討する。

4. 災害時歯科保健医療連絡協議会

これまでの経緯について説明。行歯会は参画団体として長会長が出席し協議会の副会長を担っている。

ワーキンググループは柳澤理事が主に出席し、今年度は、災害歯科保健医療に関する養成研修の企画、歯科チーム等検討中。

2 平成30年度厚生労働省歯科保健医療行政実務研修報告

江戸川区健康部健康サービス課小岩健康サポートセンター

主査 木村美由紀

平成30年6月22日（金）から平成31年2月15日（金）までの期間のうち13日間、厚生労働省医政局歯科保健課の研修に参加しましたのでご報告いたします。平成30年度の研修生は5名であり、東京都新宿区・北区・江戸川区、千葉県船橋市・市原市の歯科衛生士各1名です。

1. 研修目的

- (1) 国（厚生労働省）の施策推進状況を間近で経験することにより、江戸川区の歯科保健施策に反映させる。
- (2) 最高上位組織としての厚生労働省がどのような関係機関や団体とどのようにして連携しているのかを知る。

2. 研修内容

(1) 日時・項目・内容

第1日：6月22日

オリエンテーション、課内職員への挨拶、厚労省組織、歯科口腔保健の推進に関する法律・厚生白書について

第2日：7月2日

こども霞が関見学デー打ち合わせ、吹き矢ポスター作成、パンフレット作成

第3日：7月23日

こども霞が関見学デー名簿の作成・従事者登録作業、広報担当調整

第4日：7月31日

こども霞が関見学デー会場準備、資料印刷

第5日：8月1日

こども霞が関見学デー当日従事、従事者の入館手続き・従事者への説明・全体調整

来省者 206名（実人数）＋保護者



写真：歯科保健課執務室（研修生は推進係長の隣）



**金魚吸いゲームを
提案大好評！**

こども霞が関見学デー（感想）

こども霞が関見学デーでは、企業や団体とどのように協働して進めていけばいいかを学ぶことができた。当日「吹き戻し」を実施した企業とつながりができ、今後の江戸川区の介護予防事業において、新たな展開の可能性を作ることができた。口腔機能向上の目的で江戸川区が実施している「金魚吸い」を提供したところ大好評であり、イベントに貢献できたのではないかと思います。

参考：厚生労働省「こども霞が関見学デー」とは？

(https://www.mhlw.go.jp/houdou_kouhou/kouhou_shuppan/kids/h30_info.html)

こども霞が関見学デー（その1）(<https://www.mhlw.go.jp/photo/2018/08/ph0810-1.html>)

こども霞が関見学デー（その2）(<https://www.mhlw.go.jp/photo/2018/08/ph0810-2.html>)

第6日：8月29日

歯と口の健康週間実施状況調査（各地方公共団体における先進的な取組の資料整理）

第7日：9月12日

歯科疾患実態調査（歯周疾患グラフの作成・平成28年度データ入力）

第1回歯科口腔の推進に係るう蝕対策ワーキンググループの傍聴

う蝕罹患の現状と効果的な対策について

次期う蝕関連目標について・う蝕の健康格差について

第1回歯科口腔保健の推進に係るう蝕対策ワーキンググループ（感想）

第1回のワーキンググループでは、専門的でより具体的な事例等の内容を傍聴することができた。直接、委員の先生方の意見を傍聴できたことで、議事録には記録されない内容や雰囲気を経験することができた。今後、江戸川区にはどのような施策が必要であるかを知る機会となった。う蝕対策ワーキンググループの傍聴と江戸川区の歯科保健目標策定の時期が重なり、研修で得たことを区の目標に反映できたことは、大きな成果である。また学齢期の担当として、学校へのかかり方やフッ化物洗口についても最新の情報を傍聴でき、非常に参考になった。

第8日：10月17日

歯科口腔保健施策、歯科健康診査推進等事業について

様々な健診項目の質問を整理*基本チェックリスト（後期高齢者・特定健診特定保健指導）

第9日：11月26日

全国歯周病検診（全国歯周病検診状況集計整理）

第10日：12月13日

歯周病検診まとめ（全国歯周病検診提出状況による実施年齢の件数の割合）

8020運動30周年記念式典出席

8020運動30周年迎えシンポジウムを開催・各専門分野の講演を聴講

会場：イイノホール

写真：他自治体研修生

左：新宿区

中央：木村

右：市原市

市原市歯科事業説明

「笑顔輝く市原市民の歯と口腔の健康づくり推進条例」が平成25年4月1日に施行され、集団フッ化物洗口の文言を入れたことにより、フッ化物洗口が拡大しつつあると説明があった。

第11日：12月19日

第2回歯科口腔保健の推進に係るう蝕対策ワーキンググループの傍聴

各ライフステージにおけるう蝕対策について

みんなのできる口腔の健康格差を縮める仕掛けについて



第2回歯科口腔保健の推進に係るう蝕対策ワーキンググループ（感想）

第2回のワーキンググループでは、「フッ化物洗口」を進める上で、歯科衛生士のキャリアパスの問題を解消していくことも必要であると説明があった。行政歯科衛生士は、保健衛生部門に所属し他部他課への異動がなく、健診業務の実働要員として勤務することが多いのが現状である。保健師のような人材育成、キャリアパスが歯科衛生士にも必要である。江戸川区でもキャリアパスの問題はある。歯科保健業務は、健康部だけでなく、他部にも広がりつつある。一朝一夕にはいかないが、「フッ化物洗口」等々のう蝕対策に取り組むためにも、キャリアパスの問題を解消することが必要と感じた。

また、フッ化物洗口は専門性が高いことから、事業におけるエビデンスや成果を歯科衛生士が関係者に説明できるようにするためにも、専門職としてキャリアラダーの構築を進め、人材育成に取り組んでいくことが必要である。

江戸川区歯科事業説明

江戸川区の歯科事業について歯科口腔保健室長、歯科口腔保健専門官、推進係長に説明

第12日：1月24日

全国歯周病検診（実施年齢、個別・集団実施の整理）

第13日：2月15日

第3回歯科口腔保健の推進に係るう蝕対策ワーキンググループの傍聴

各ライフステージにおけるう蝕対策について



写真：歯科口腔保健の推進に係るう蝕対策ワーキンググループ会議開始前

第3回歯科口腔保健の推進に係るう蝕対策ワーキンググループ（感想）

第3回のワーキンググループでは、第1回、第2回検討してきた中で、「小児のう蝕対策」と「障害児者対策」、「歯根面う蝕対策」が必要ということで参考人から説明があった

妊婦健診は、医科のガイドラインで14回と回数や時期の目安が示されているが、妊婦歯科健診は、回数や時期の科学的な根拠が明確ではない。妊婦にとって歯科健診は、成果があることを学会等で発表すること、評価をすることが必要である等、構成員の先生方から意見があった。

今回のワーキンググループで傍聴した内容を、江戸川区の施策にあてはめてみて、妊婦歯科健診を歯科医師会に委託して実施した結果を評価し、成果がわかるよう、早急に歯科医師会と協力して評価方法を検討していく必要があると感じた。

3. 研修を終えて

13日間の研修は、今後の江戸川区の歯科保健行政施策に反映することができる内容であった。

研修は、厚生労働省医政局歯科保健課執務室、推進係長の隣席に研修生用のデスクがあり、業務にあたる研修であった。執務室内は、常に業務の意見のやり取りがされており、コミュニケーションが活発で職場はとても明るい雰囲気であった。職員間の会話を聞くことができ、最新情報や国の動向がわかり参考になった。厚生労働省医政局歯科保健課と江戸川区との顔の見える関係を作ることでもできた。

全国の調査を集計・整理することで、全国の様々な取組事例の状況を把握することができる良い機会を得た。例えば、ネーミングが魅力的な事業、詳しく聞いてみたい事業など多数あった。このような事例が全国の自治体にあり、効果的な取組であることを統計・整理をすることで知ることができた。成功事例として他自治体に周知することができれば、それを参考にして実施する自治体があるのではないかと、また江戸川区でも実施できるような取組があり、是非取り入れていくことを検討したいと感じた。

他区市町村の研修生と情報交換をすることもできた。学校における「フッ化物洗口」のう蝕予防の取組や新規歯科事業の実施にあわせた歯科衛生士の職員増員への取組等は、江戸川区で検討するうえで非常に参考になった。

研修を通して、厚生労働省医政局歯科保健課に歯科衛生士を配置することが望ましいのではないかと感じた。今後、各自治体で様々な業務を行うことを考慮すると、国と地方行政が連携した施策や取組が重要となってくる。全国の歯科衛生士と連携し、統括することができる歯科衛生士が、厚生労働省医政局歯科保健課に必要なのではないかと感じた。

<研修最後の日に歯科保健課の皆様と>



後列左：宮原歯科口腔保健推進室長
後列中：市原市金子研修生
後列右：古田歯科保健課長補佐
前列左：青木歯科口腔保健専門官
前列中：木村
前列右：江藤推進係長

最後に

歯科保健課の皆様には、大変お世話になりました。大変貴重な機会を与えてくださり感謝しております。この研修に少しでも多くの方が参加できることを願っております。

3 都道府県世話役のつぶやき

～富山県～

富山県厚生部健康課 大平 貴士

●富山県の最近のトピックス

はじめまして。平成30年4月より富山県厚生部健康課に着任いたしました、大平 貴士と申します。



黒部五郎岳にて(2016年8月)

着任早々、前任の片岡さんより、主な業務は県内会員のとりまとめだけなので引き受けないかと言われ（騙され？）富山県の世話役を拝命しております。

富山県は立山連峰、飛騨高地、医王山から加越国境の丘陵と東南西を山で囲まれ、北は富山湾に面しています。富山湾は、西側に大きく突き出した能登半島に守られた日本海側最大級の湾で、氷見海岸からは、富山湾に浮かぶようにそびえる立山連峰をみることができます。海越しに3,000m級の連峰を眺めることができる場所は、世界的にもあまり例がないのではないのでしょうか。また、富山湾はブリ、シロエビをはじめとした水産資源の宝庫でもあります。富山に来られた際には、ぜひ海に浮かぶ立山連峰と豊富な水産物を堪能していただければと思います。

さて、そんな富山県における歯科保健への取り組みについてですが、富山県では平成25年度に「富山県歯と口の健康づくり推進条例」を制定し、同条例に基づく基本計画として、「県民歯と口の健康プラン」を策定しました。このプランでは、「生涯を通じた口腔の健康及び口腔機能の維持・向上の観点から『8020運動』をさらに推進する」ことを基本目標とし、分野ごとに指標を定めており、この指標を達成するために日々頭を悩ませながら、業務に取り組んでいます。

●世話役のつぶやき

私事ですが、山登りが趣味で5年程前より日本百名山の踏破に挑戦しています（現在、56/100座）。今まで登ってきた山の中で一番印象に残っているのが、美しいカールで有名な北アルプスの黒部五郎岳なのですが（写真：2016年8月）、実は富山県と岐阜県の県境にある山です。そんな私が富山県庁に勤めることとなったのもなにかの縁だと思っています。富山県の歯科口腔保健の推進のために、微力ではありますが頑張りたいと思います。

～和歌山県～

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

得津 康子

行歯会の皆さま、いつもお世話になっております。

日頃は、皆さんから発信される情報を「ほーっ!」「へー!」「ふむふむ」と興味深く拝見させていただいております。

もう10年以上前になりますが、「行歯会だより」の編集担当もさせていただきました。当時（というか、私の担当時）から紙面も格段充実して、何より、継続は力だなあ。としみじみ感じております。

さて、前置きが長くなりましたが、いつかお鉢が回ってくるかも、とドキドキしておりました。

改元後の新年度第1号へのお目汚しとしないことを願いつつ投稿させていただきます。



和歌山県PR

キャラクター

きいちゃん

●和歌山県の最近のトピックス

唐突ですが、パンダと言えは?・・・やっぱり「上野」ですか。（しょんぼり）和歌山県白浜町にあるアドベンチャーワールドでは昨年8月14日に誕生（私の誕生日と1日違いです。）した彩浜を含め、今まで16頭のパンダが誕生しています。彩浜もこの春から屋外デビューを果たしましたので、是非かわいい姿を見に来てくださいね。和歌山を最果てのように思っている方、確かに列島幹線からは少し(?)ずれておりますが、温暖な気候と豊富な海の幸・山の幸にきっと満足していただけたと思います。

さて、和歌山県の歯科保健については、平成30年3月に歯科保健計画の中間評価・見直しを行いました。子供のう蝕や6024の達成状況等については改善傾向にあり、目標値設定を変更するなど一定の効果がみられる一方で、従前から課題となっている壮年期での進行した歯周病罹患率は、なかなか改善がみられず、8020達成率についても全国値とは大きな開きがあります。

このような中、もっと若い世代からアプローチを！ということで平成30年度事業として県内の大学・短期大学・医療系専門学校の学生を対象に歯科に関する意識調査、口腔内診査、唾液検査、保健指導、グループワークを実施しました。「こうしたら、定期的に歯科検診を受ける！（かも）」をテーマにしたグループワークでは、「イケメンの歯科医師がいる」「（歯科健診の重要性を）YouTubeでバズらせる」、「（周知媒体として）SNSを活用」「ポイントが貯まるようにする」といったイマドキな意見から「健診だけなら国が負担して無償にする」、「行かなかったら罰則」、など少々乱暴な意見、そして「地域の専門医が学校などの集団に対して授業をする」などまっとうな意見まで多様性が見られました。事後アンケートの結果では大半の学生が有意義な内容であり、歯科保健について関心を持つきっかけとなったと回答していました。今後も彼、彼女らが歯と口腔の健康について学び、体験する機会を持ち、将来の健康指標に反映されることを願っております。

また、改善がみられたとはいえ、まだまだ全国の状況には及ばない子供のう蝕対策についても、今年度から“子供のむし歯ゼロ推進事業”と銘打ち、これまで以上の取組の充実を目指します。

●世話役のつぶやき

平成のスタートより一足早く歯科衛生士デビューを果たしてから、まさに“光陰矢のごとし”で、時だけが過ぎ、未だ未熟な自分に少々焦りを感じております。臨床を経て行政に勤務することとなった初めての夏、行歯会でも度々話題になる「夏ゼミ」に参加をさせていただき、全国各地で活躍される皆さんにお会いし、圧倒されるとともに沢山の刺激をいただいたのが昨日のこのことです。行歯会では当初ブロック理事を担当し、現在は名ばかりの世話役となっております。当県は、歯科専門職が極めて少なく、歯科医師は県に1名、歯科衛生士は県に1名、中核市に3名、29市町村のうち1市に1名という現状です。「こんなに歯科専門職がいっぱいで世話役が大変！」とまではいなくても、いつも羨望の目で見ている「〇〇県（市）では歯科衛生士の募集をしています！」を掲載できることを目指し、気持ちも新たに令和の時代をスタートしたいと思います。

♪ 編集後記 ♪

異動した方、異動しなかった方、どちらも慌ただしい4月だったのではないのでしょうか。私は、異動して前任の先輩から何よりも先に引き継いだ職場の昼休みラジオ体操係を何とか1か月続けることができました。「継続していけば、見えてくるものがあるから・・・」との教えのとおり、他部の顔見知りが増えてきました。ゴールデンウィークで夏までのパワーを養い、令和の時代とともにいよいよ本格稼働です。（S）

福田新事務局長就任により、また新たな行歯会となっていきます。よろしくお願ひいたします。富山県世話役つぶやきで掲載の黒部五郎岳いいですね。わたしも2回登りました。雄大な素晴らしい山からの風が写真からも伝わってきます。

10日間のゴールデンウィークを言い訳にするわけではありませんが、4・5月合併号になってしまいました。令和元年、気持ちを新たに頑張ります。（I）

「歯っとサイト」掲載コンテンツ募集！

「歯っとサイト（歯科口腔保健の情報提供サイト）」

<http://www.niph.go.jp/soshiki/koku/oralhealth/index.html> では、

掲載コンテンツを募集しています。

掲載を希望される場合は、「行歯会だより」の配信メールに記載されている窓口宛にご連絡ください。